

|     |              |
|-----|--------------|
| 所 属 | 歴史博物館        |
| 所属長 | 門田真由美        |
| 電 話 | 06-6489-9801 |

## 尼崎市立歴史博物館第8回企画展

### 「尼崎を駆け抜けた戦国武将 - 細川高国・三好長慶・佐々成政 -」 「歴史博物館ができるまで」を開催します

#### 1 概 要

尼崎市立歴史博物館では、年間3回程度、尼崎の歴史や文化財に関して、館蔵資料を中心に展示する企画展を開催しています。

4月22日(土)から開催する第8回企画展は、尼崎ゆかりの戦国武将について紹介する「尼崎を駆け抜けた戦国武将 - 細川高国・三好長慶・佐々成政 -」と、30年以上に及んだ当館の開館までの歩みを紹介する「歴史博物館ができるまで」の2本立てで開催します。

会期中、講座やギャラリーなどの関連事業を開催します。  
入館料、受講料は無料です。

#### 2 「尼崎を駆け抜けた戦国武将 - 細川高国・三好長慶・佐々成政 -」

##### (1) 概 要

応仁・文明の乱以降、室町幕府の衰退とともに到来した戦国時代、瀬戸内海有数の港湾都市となっていた尼崎とその周辺地域もしばしば戦乱に巻き込まれました。本展では戦乱の時代に尼崎を駆け抜けていった戦国武将、細川高国(1484~1531)、三好長慶(1522~64)、佐々成政(1536?~88)を取り上げ、その足跡や尼崎との関わりについて紹介します。

初公開や市指定文化財などの館蔵資料に加え、市内では初公開となる法園寺所蔵「佐々成政画像」を特別出品していただきます。

##### (2) 会 期

4月22日(土)~6月18日(日)

休 館 日：毎週月曜日

開館時間：午前9時~午後5時(入館は午後4時半まで)

##### (3) 会 場

尼崎市立歴史博物館 3階 企画展示室

##### (4) 主な展示資料

- ・ 応仁記山名細川確執之図 …当館蔵
- ・ 大物浦船戦図 …当館蔵
- ・ 細川高国書状 …当館蔵 ※初公開
- ・ 犬追物図屏風 …当館蔵
- ・ 三好範長(長慶)禁制 …個人蔵[当館寄託]《尼崎市指定文化財》
- ・ 三好実休禁制[複製] …当館蔵 ※原資料は大覚寺蔵・兵庫県指定文化財
- ・ 佐々成政画像 …法園寺蔵 ※特別出品 市内初公開
- ・ 新撰太閤記 佐々成政さらさら越え …当館蔵
- ・ 豊臣秀吉朱印状 …当館蔵《尼崎市指定文化財》
- ・ 慶長十九年大坂冬御陣図 …当館蔵

(5) 出品点数

約60点

(6) 関連事業

① 水曜歴史講座

- ・日 時 5月10日(水)午後2時～4時
- ・会 場 尼崎市立歴史博物館 3階 講座室
- ・講 師 尼崎市立歴史博物館 学芸員 楞野一裕
- ・演 題 細川高国と尼崎
- ・定員等 70人、5月5日(金)から電話とファクスで先着順受付、受講無料

② ギャラリートーク

- ・日 時 4月23日(日)、5月7日(日)、20日(土)、6月3日(土)、17日(土)  
各日午後2時～3時
- ・会 場 尼崎市立歴史博物館 3階 企画展示室
- ・内 容 担当学芸員が展示会場で主な展示資料を解説する。
- ・定員等 各回先着20人、当日直接会場へ、参加無料

### 3 「歴史博物館ができるまで」

(1) 概 要

昭和50年代に構想され、昭和61年(1986)に尼崎市制70周年記念事業として整備事業が開始されながら、令和2年(2020)10月に実際に開館するまで30年以上の歳月を要した尼崎市立歴史博物館の開館までの歩みを紹介します。

(2) 会 期

4月22日(土)～9月3日(日)

休 館 日：毎週月曜日 但し7月17日(月・祝)は開館し、翌18日(火)は休館

開館時間：午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

(3) 会 場

尼崎市立歴史博物館 3階 展示学習室

(4) 主な展示資料

- ・尼崎市立歴史博物館・中央図書館基本設計
- ・尼崎市立歴史博物館展示基本設計
- ・尼崎市立歴史博物館準備室だより
- ・歴史博物館収蔵資料展ポスター
- ・城内地区まちづくり基本指針

(5) 出品点数

約60点

### 4 担 当

尼崎市教育委員会 社会教育部 歴史博物館

学芸員 楞野<sup>かどの</sup>一裕 … 「尼崎を駆け抜けた戦国武将」

学芸員 桃谷<sup>ももたに</sup>和則 … 「歴史博物館ができるまで」

〒660-0825 尼崎市南城内10番地の2

電 話 06-6489-9801

F A X 06-6489-9800

以 上

# 尼崎市立歴史博物館第8回企画展

令和5年(2023)4月22日(土)～6月18日(日)

# 尼崎を駆け抜けた 戦国武将

— 細川高国・三好長慶・佐々成政 —

開館時間  
休館日  
会場

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
月曜日  
尼崎市立歴史博物館 3階 企画展示室

## 水曜歴史講座 受講無料

日時 5月10日(水)午後2時～4時  
会場 尼崎市立歴史博物館 3階 講座室  
演題 細川高国と尼崎 講師:当館学芸員  
定員 70名  
※5月5日(金)から電話・FAX で先着順に受付を開始

## ギャラリートーク 参加無料

日時 4月23日(日)、5月7日(日)・20日(土)、  
6月3日(土)・17日(土)  
各日午後2時～3時  
会場 企画展示室  
内容 担当学芸員が主な展示資料を解説します  
※参加申込不要 定員当日先着各20名

観覧無料

犬追物図屏風(当館蔵)・部分

## 同時開催(会場:展示学習室) 歴史博物館が できるまで

構想開始から令和2年(2020)10月の開館まで、30年以上に及んだ尼崎市立歴史博物館の開館までの歩みを紹介します。



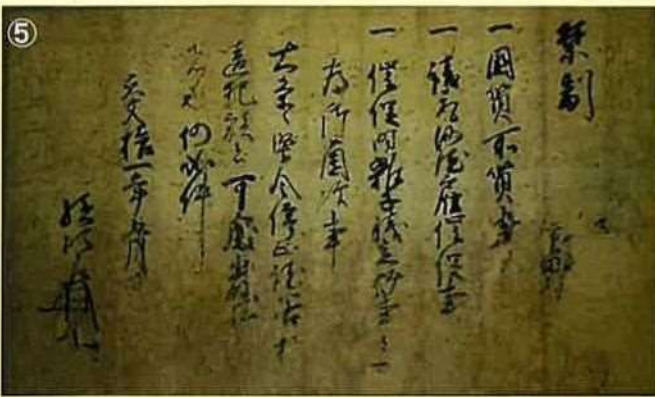
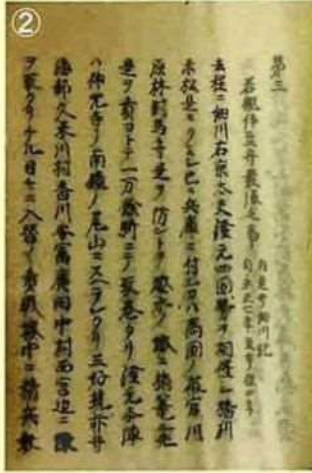
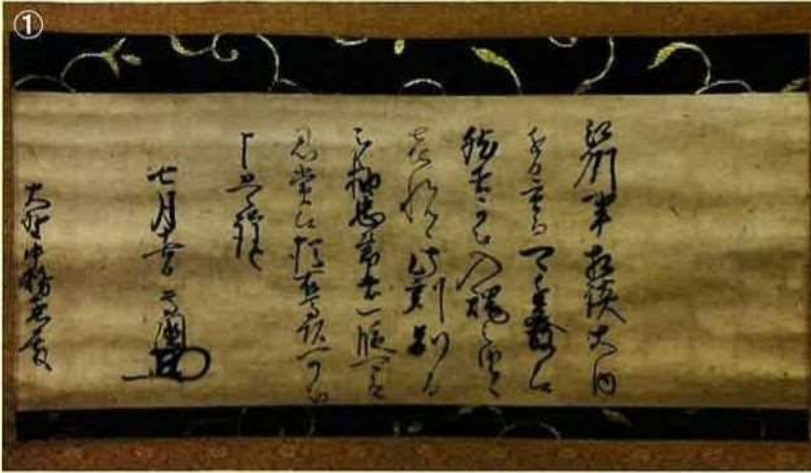
〒660-0825 兵庫県尼崎市南城内 10番地の2  
電話 06-6489-9801(歴史博物館 文化財担当)  
電車・バス…阪神尼崎駅から南東へ徒歩約10分  
自動車…玉江橋線開明橋交差点から東へ約500m  
隣接する市立城内駐車場(有料)をご利用ください  
当館では新型コロナウイルス感染防止対策を行っています。ご観覧の皆様のご協力をお願いします。  
[https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/manabu/bunkazai\\_0/index.html](https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/manabu/bunkazai_0/index.html)



尼崎市立歴史博物館



文正2年(応仁に改元、1467)1月の洛中での合戦をきっかけに始まった応仁・文明の乱以降、室町幕府の衰退とともに群雄が割拠する戦国時代が到来し、瀬戸内海有数の港湾都市となっていた尼崎とその周辺地域にもしばしば戦乱が及びました。第8回企画展では尼崎に関わりがある戦国武将、細川高国(1484-1531)、三好長慶(1522-64)、佐々成政(1536?-88)の3人を取り上げ、その足跡と尼崎との関わりを中心に紹介します。



- ①細川高国書状 初公開
- ②管領記
- ③大物くずれ戦跡石碑
- ④現在の広徳寺(細川高国最期の地)
- ⑤三好範長禁制(個人蔵・当館寄託)  
尼崎市指定文化財
- ⑥本朝有像百将伝
- ⑦続応仁後記(重編応仁記の内)
- ⑧佐々成政画像(法園寺蔵)
- 市内初公開
- ⑨豊宣 新撰太閤記 佐々成政さらさら越え
- ⑩佐々成政供養塔(法園寺)

### ◆令和3年度尼崎市指定文化財を指定

令和4年3月1日付けて2件の歴史資料が尼崎市指定文化財に指定されました。これで尼崎市指定文化財は55件になりました。それぞれの概要は次のとおりです。

#### ◎寛文十年頃尼崎城下絵図（個人蔵・尼崎市立歴史博物館寄託）

頁数：1枚 法量：縦126.0cm、横195.0cm 形状：紙本彩色

尼崎城と城下町を克明に描いた縮尺1200分の1の絵図。尼崎城下絵図の中では最も正確なものといわれ、現在は尼崎市立歴史博物館に寄託。記載内容から寛文9～10（1669～70）年頃の景観を描いたものと判断される。尼崎城と城下町は、元和4（1618）年の築城開始以来、築地町を含む尼崎8町の成立、出屋敷の建設と城郭の改修を以て約50年の歳月をかけて完成するが、本図はそれらの形成過程を示すとともに、完成を伝える記念すべき一枚といえる。

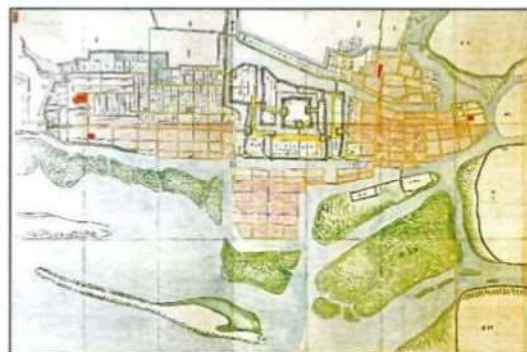


寛文十年頃尼崎城下絵図(個人蔵)

#### ◎延宝頃尼崎城下絵図（貴布禰神社所蔵）

頁数：1枚 法量：縦109.0cm 横210.0cm 形状：紙本彩色画巻装

色分けした大型の絵図で、構図と景観は「寛文十年頃尼崎城下絵図」とほぼ同じであるが、その後の城下町の変化を書き加えて修正したと考えられ、同図からはあまり時代が下らない延宝年間（1673～80）頃の、尼崎城下町が発展していく前の様子を描いた絵図である。大きさや筆致の細かさなどから、城下町尼崎の発展拡大過程を克明に描いた貴重な資料といえる。



延宝頃尼崎城下絵図（貴布禰神社所蔵）

## 尼崎市立歴史博物館だより 第1号

編集・発行 尼崎市教育委員会 社会教育部 歴史博物館  
〒660-0825 兵庫県尼崎市南城内10番地の2 尼崎市立歴史博物館  
TEL 06-6489-9801  
06-4868-0362（埋蔵文化財専用）  
06-6482-5246（史料担当）  
FAX 06-6489-9800  
E-mail ama-rekihakubunka@city.amagasaki.hyogo.jp  
発行日 令和4年（2022）3月25日



# 尼崎市立歴史博物館だより

## 第1号

令和4年（2022）3月



尼崎市立歴史博物館は、令和2年（2020）10月、これまで市域に所在する様々な歴史遺産の収集・保存・展示・活用等を進めてきた市立文化財収蔵庫と市立地域研究史料館の機能を統合して開館しました。2000年を超える尼崎の豊かな歴史や文化を理解し未来を展望する学びの場となり、歴史遺産を後世に伝える役割をもつ施設です。尼崎の原始・古代から現代までの通史を概観できる常設展示のほか、年1回の特別展と年3回程度の企画展を開催するとともに、公文書館機能を担います。

### 利用案内

【開館時間】午前9時～午後5時 ※入館は午後4時30分まで  
【休館日】月曜日（祝休日の場合は開館し、直後の平日休館）、年末年始  
※埋蔵文化財に関する業務は、月曜日を含む平日のみ行っています。  
土・日・祝日には行っていません。  
【入館料】無料

## 展覧会 令和4年度も多彩な内容で特別展・企画展を開催します

### ◆第5回企画展「-まだまだ謎だらけ-ここまでわかった富松城」

土塁と堀の一部が現存する富松城は平地に残る戦国時代の城館跡としては兵庫県内でも数少ない貴重な遺跡であり、戦国時代の戦乱の様相を今に伝えるかけがえのない歴史遺産ですが、築城・廃城時期、規模・構造など未解明な点は少なくありません。これまでの文献資料による調査研究と周辺での発掘調査によって得られた成果から明らかになってきた富松城の姿を、記録や絵図などの歴史資料や出土資料によって紹介します。

【会場】3階 企画展示室

【会期】令和4年(2022)4月23日(土)～6月19日(日)



七箇村水論立会絵図(部分)  
(富松神社所蔵東富松水利組合文書)

### ◆同時開催「地域の宝・富松城跡-保存活用の軌跡」

令和元年(2020)に懸案となっていた富松城跡の土塁周辺部分の市有地化が完了し、本年1月には協働で取り組んできた富松城跡を活かすまちづくり委員会が発足20周年を迎えたことから、これまでに協働で進めてきた富松城跡の保存・活用の歩みを紹介する企画展を同委員会との共催で開催し、これからの保存・活用のあり方について検討していく契機とします。

【会場】3階 展示学習室

【会期】令和4年(2022)4月23日(土)～9月4日(日)



第1回富松城跡まつり

### ◆第6回企画展「市民協働企画展 伝えたい尼崎の伝説Ⅱ《茨木童子》と《秀吉》」

市民ボランティアと協働で取り組んでいる尼崎の伝説を伝える活動を紹介いたします。

【会場】3階 企画展示室

【会期】令和4年(2022)7月9日(土)～9月4日(日)

### ◆第2回特別展「初代尼崎市長櫻井忠剛と勝海舟・川村清雄」

勝海舟・川村清雄との関わりを中心に洋画家でもあった櫻井忠剛の生涯を振り返ります。

【会場】3階 企画展示室・展示学習室

【会期】令和4年(2022)10月1日(土)～11月30日(水)

### ◆第7回企画展「ダンスホールのまち尼崎」

昭和戦前の尼崎に所在したダンスホールの歴史や様子について紹介します。

【会場】3階 企画展示室

### ◆第7回企画展「むかしの暮らし むかしの小学校」

電化製品が普及しはじめたころの暮らしの道具と戦前の小学校の様子を紹介します。

【会場】3階 展示学習室

【会期】令和5年(2023)1月7日(土)～3月26日(日) ※両展共通です

## 講座 四半世紀以上の歴史を重ねた2つの講座を令和4年度も継続します

### ◆水曜歴史講座

当館の学芸員や外部講師が尼崎の歴史や文化財に関する様々な話題をテーマに、原則毎月第2水曜日の午後2時から4時まで3階講座室で講座を開催しています。

(上半期の予定)

| 開催日      | テーマ(講師)                        |
|----------|--------------------------------|
| 4月13日(水) | 平安時代末期の動乱と寺江山荘(梶野一裕・当館学芸員)     |
| 5月11日(水) | 歌・俳句で見る沖繩(木割大雄氏・俳人)            |
| 6月8日(水)  | 発掘調査で分かった富松城(井上亮・当館学芸員)        |
| 7月13日(水) | 尼崎の伝説を繙く-渡辺綱と茨木童子-(伏谷優子・当館学芸員) |
| 8月10日(水) | 掘り出された港町-大物-(山上真子・当館学芸員)       |
| 9月14日(水) | 尼崎の洋画家櫻井忠剛(大槻晃実氏・芦屋市立美術博物館学芸員) |

【申込】要 【受講料】不要 【問合せ先】06-6489-9801(文化財担当)

### ◆『尼崎市史』を読む会

『たどる調べる尼崎の歴史』や『図説尼崎の歴史』から講師が内容解説を、原則毎月2回行います。開催日程は変更になる場合があります。

| 開催日   | 時間     | 会場              |
|-------|--------|-----------------|
| 第1木曜日 | 午後6時から | 尼崎市立中央図書館 セミナー室 |
| 第3金曜日 | 午後6時から | 尼崎市立北図書館 集会室    |

【申込】要 【資料代】要 【問合せ先】06-6482-5246(史料担当)

## 刊行物 歴史博物館では尼崎の歴史や文化財に関する刊行物を販売中です

下表の刊行物を館内で頒布しています。  
郵送ご希望の方は各冊子の問合せ先までお尋ねください

| 冊子名                          | 頒布価格   | 問合せ先  |
|------------------------------|--------|-------|
| 尼崎城研究資料集成                    | 1,000円 | 文化財担当 |
| 第1回特別展図録「花開く江戸絵画-城下にぎわうころに-」 | 500円   | 文化財担当 |
| 開館記念展図録「尼崎藩主三代の軌跡」           | 1,000円 | 文化財担当 |
| 尼崎の神社・寺院建築                   | 890円   | 文化財担当 |
| 尼崎市埋蔵文化財調査年報 平成24年度(1)《最新刊》  | 190円   | 文化財担当 |
| たどる調べる尼崎の歴史 上下巻セット           | 4500円  | 史料担当  |
| 尼崎の歴史 ダイジェスト版                | 100円   | 史料担当  |
| 尼崎市史 史料編・別編                  | 3500円他 | 史料担当  |
| 地域史研究 121号《最新刊》              | 850円   | 史料担当  |

※『埋蔵文化財調査年報』と『地域史研究』は既刊分も販売しています。

『年報』は文化財担当(06-6489-9801)、『研究』は史料担当(06-6482-5246)までお問い合わせください。

## トピックス 歴史博物館の最新情報をご紹介します

### ◆音声ガイドシステムを導入しました

当館では、この度、音声ガイドシステムを導入しました。昭和戦前期の学校校舎である建物の見どころや、常設展示の代表的展示資料、来館者が利用できる部屋の紹介、そして屋外施設など20か所について、お持ちのスマートフォンを用いて説明を聞くことができます。ぜひ、ご利用ください。

## 文化財 文化財保護・活用に関するトピックスです

### ◆文化財保存活用地域計画の策定に着手します

「文化財保存活用地域計画」は文化財保護法の改正により導入された文化財の保存と活用に関する総合的な法定計画です。各市町村での文化財行政の中・長期的な基本方針と短期的に実施する具体的な事業を記載するアクションプランとしての両方の役割を担うもので、市町村が策定し、文化庁長官によって認定されます。

少子高齢化等の社会状況を背景に、貴重な文化財の滅失・散逸等の防止が緊急の課題となっているなか、未指定を含めた有形・無形の文化財をまちづくりに活かしつつ、これら文化財の継承の担い手を確保し、地域社会総がかりで取り組んでいくことができる体制づくりの整備が目的で、県内の他の自治体でも策定が進められています。

令和5年(2023)度から3か年計画で、本市の文化財の保存・活用の方向性と、市民の学びを支える拠点である歴史博物館の基本方針を示した「尼崎市文化財保存活用地域計画」を策定します。計画期間は令和8年(2026)度から7か年とし、文化財の現状を踏まえた保存・活用の方向性の提示、博物館(M)、図書館(L)、文書館(A)、文化施設(C)の総合的・一体的な連携の促進、尼崎の文化遺産を地域教育の柱として、学校教育とのより一層の連携とシビックプライドの醸成に取り組むこと等が骨子となる予定です。

## 歴史的公文書 公文書館機能に関するトピックスです

### ◆特定歴史的公文書利用請求制度が始まりました

「尼崎市公文書の管理等に関する条例」の施行により、令和4年(2022)4月から新たに特定歴史的公文書の利用請求制度が始まりました。

尼崎市が過去に作成した公文書のうち、市の諸活動や歴史的事実を記録する歴史資料として重要な文書を、特定歴史的公文書として歴史博物館で保存し、利用に供する公文書館としての制度です。

歴史博物館が保存する特定歴史的公文書のうち、整理ができたものから順に「特定歴史的公文書目録」に掲載し、市ホームページの歴史博物館のページに公開していきます。

### 利用案内

【開館時間】 午前9時～午後5時 ※入館は午後4時30分まで  
【休館日】 月曜日(祝休日の場合は開館し、直後の平日休館)、12月29日～1月3日  
※埋蔵文化財に関する業務は月曜日を含む平日のみ行っています。  
土曜日・日曜日・祝日には行っていません。  
【入館料】 無料  
【アクセス】 電車・バス…「阪神尼崎駅」南口から南東へ徒歩10分  
車 ……産業道路(県道56号)「開明橋」交差点から東へ500m  
※駐車場は隣接の市立城内地区自動車駐車場(有料)をご利用ください

### 尼崎市立歴史博物館だより 第2号

編集・発行 尼崎市教育委員会 社会教育部 歴史博物館  
〒660-0825 兵庫県尼崎市南城内10番地の2 尼崎市立歴史博物館  
TEL 06-6489-9801 (文化財担当)  
06-4868-0362 (埋蔵文化財専用)  
06-6482-5246 (企画担当・史料担当)  
FAX 06-6489-9800  
E-mail ama-rekihakubunka@city.amagasaki.hyogo.jp  
発行日 令和5年(2023)3月25日



# 尼崎市立歴史博物館だより

第2号

令和5年(2023)3月

## 来館者が10万人に達しました

令和2年(2020)10月に開館した尼崎市立歴史博物館の来館者が、今年1月に累計で10万人に達しました。今なお続くコロナ禍の最中という先行き不透明なかでの開館でしたが、この間、開館記念展「尼崎藩主三代の軌跡」を皮切りに特別展を2回、企画展を7回開催したほか、毎月第2水曜日を例日とする水曜歴史講座、月2回ペースで行う体験学習室オープンデー等の教育普及事業を開催することができました。また、昨年4月からは歴史的な公文書の利用請求制度を開始し、公文書館としての機能も本格的にスタートさせました。引き続き、多くの方々に来館、利用していただくことができる魅力ある博物館を目指して取り組んでいきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



〈これまでに開催した展覧会〉

| 区分    | 回 | テーマ                          | 会期                  |
|-------|---|------------------------------|---------------------|
| 開館記念展 |   | 尼崎藩主三代の軌跡                    | R2. 10. 10 ~ 11. 29 |
| 企画展   | 1 | むかしのくらし むかしの小学校              | R3. 1. 9 ~ 3. 28    |
| 企画展   | 2 | 中世尼崎の武者伝説                    | R3. 4. 24 ~ 6. 27   |
| 企画展   | * | 尼いも復活物語 *第2・3回同時開催           | R3. 4. 24 ~ 9. 5    |
| 企画展   | 3 | 尼崎城を掘る                       | R3. 7. 10 ~ 9. 5    |
| 特別展   | 1 | 花開く江戸絵画—城下にぎわうころに            | R3. 10. 2 ~ 11. 30  |
| 共催展   |   | “ひょうご五国” 歴史文化キャラバン※          | R4. 1. 8 ~ 2. 6     |
| 企画展   | 4 | むかしのくらし むかしの小学校              | R4. 1. 8 ~ 3. 27    |
| 企画展   | 5 | まだまだ謎だらけ—ここまでわかった富松城—        | R4. 4. 23 ~ 6. 19   |
| 企画展   | * | 地域の宝・富松城跡—保存活用の軌跡 *第5・6回同時開催 | R4. 4. 23 ~ 9. 4    |
| 企画展   | 6 | 伝えたい尼崎の伝説II—「茨木童子」と「秀吉」      | R4. 7. 9 ~ 9. 4     |
| 特別展   | 2 | 初代尼崎市長櫻井忠剛と勝海舟・川村清雄          | R4. 10. 1 ~ 11. 30  |
| 企画展   | 7 | ダンスホールのまち尼崎                  | R5. 1. 7 ~ 3. 26    |
| 企画展   | * | むかしのくらし むかしの小学校 *第7回同時開催     | R5. 1. 7 ~ 3. 26    |

※兵庫県立歴史博物館と共催

## 展覧会 令和5年度(2023.4.1~2024.3.31)の開催予定です

### ◆第8回企画展 尼崎を駆け抜けた戦国武将—細川高国・三好長慶・佐々成政—



細川高国書状〈初公開〉

〔企画展示室〕  
 〔会期〕4月22日(土)~6月18日(日)  
 応仁の乱以降、室町幕府の衰退とともに到来した戦国時代、戦乱は尼崎にも及びました。本展では尼崎に関わりがある3人の戦国武将、細川高国、三好長慶、佐々成政を取り上げ、その足跡と尼崎との関わりを中心に紹介します。

### ◆第9回企画展 尼崎紡績—工都尼崎のはじまり—



尼紡本社絵葉書  
 (阪巴橋ヨリ尼崎紡績本社ヲ望ム)

〔企画展示室〕  
 〔会期〕7月8日(土)~9月3日(日)  
 明治22年(1889)、尼崎最初の近代的大工場となる尼崎紡績が設立され、これを契機に尼崎は工業都市として発展しました。現存市内最古の洋館であり、市内に残る尼崎紡績唯一の歴史遺産である明治33年(1900)築の旧尼崎紡績本社事務所を尼崎市が取得したことを記念して、尼崎紡績の歴史を紹介します。

### ◆第8・第9回企画展〈同時開催〉 歴史博物館ができるまで



歴史博物館・中央図書館基本設計  
 完成予想図

〔展示学習室〕  
 〔会期〕4月22日(土)~9月3日(日)  
 昭和50年代に構想され、昭和61年(1986)に尼崎市制70周年記念事業として整備事業が開始されながら、令和2年(2020)に実際に開館するまで30年以上の歳月を要した尼崎市立歴史博物館の開館までのあゆみを紹介します。

### ◆第3回特別展 尼崎市指定文化財の精華



豊臣秀吉木像菊桐紋蒔絵厨子  
 (宝樹院)

〔企画展示室〕  
 〔会期〕前期：10月1日(土)~11月30日(木)  
 後期：1月6日(土)~3月24日(日)

昭和58年(1983)に尼崎市内に所在する長遠寺の「絹本着色涅槃図」等5件の文化財が初めて尼崎市指定文化財に指定されたから、今年でちょうど40年になります。そこで、これを記念して、前期は



長遠寺多宝塔  
 (国指定重要文化財)

市内の寺社等所蔵、後期は歴史博物館所蔵の市指定文化財を中心に展示し、本市文化財の精華を紹介します。

### ◆第3回特別展〈同時開催〉 わがまち誇りの指定文化財写真展

〔展示学習室〕  
 〔会期〕10月1日(土)~3月24日(日)

特別展に出展しない市指定文化財と、市内の国・県指定文化財を写真で紹介いたします。

## 講座 どなたでも参加できる講座・学習会です

### ◆水曜歴史講座

当館の学芸員や外部講師が尼崎の歴史や文化財に関する様々な話題をテーマに、原則毎月第2水曜日の午後2時から4時まで3階講座室で講座を開催しています。  
 〈上半期の予定〉 ※テーマは仮題を含みます

| 開催日      | テーマ(講師)                          |
|----------|----------------------------------|
| 4月12日(水) | 最新の尼崎藩研究-青山氏を中心に-(河野未央・当館史料担当係長) |
| 5月10日(水) | 細川高国と尼崎(梶野一裕・当館学芸員)              |
| 6月14日(水) | 荒木村重について(砂川博氏・相愛大学名誉教授)          |
| 7月12日(水) | 尼崎紡績-工都尼崎のはじまり(桃谷和則・当館学芸員)       |
| 8月9日(水)  | 木割流尼崎談義(木割大雄氏・俳人)                |
| 9月13日(水) | 尼崎の土器について(新里遥・当館学芸員)             |

【申込】要 【受講料】不要 【問合せ先】06-6489-9801(文化財担当)

### ◆『尼崎市史』を読む会

『たどる調べる尼崎の歴史』や『図説尼崎の歴史』から講師が内容解説を、原則毎月2回行っています。開催日程は変更になる場合があります。

| 開催日   | 時間     | 会場              |
|-------|--------|-----------------|
| 第1木曜日 | 午後6時から | 尼崎市立中央図書館 セミナー室 |
| 第3金曜日 | 午後6時から | 尼崎市立北図書館 集会室    |

【申込】要 【資料代】要 【問合せ先】06-6482-5246(史料担当)

## 体験学習 尼崎の歴史にちなんだ体験学習の催しを開催しています

### ◆体験学習室オープンデー

当館3階の体験学習室では、糸紡ぎ等の実演・体験や、月替わりのテーマでむかしのくらしにふれる体験学習ができる「体験学習室オープンデー」を毎月2回程度、土曜日または日曜日に実施しています。れきし体験学習ボランティアの活動を実際に見学していただくこともできます。開催日は市ホームページの歴史博物館のページをご覧ください。



体験学習室オープンデーの様子

## 刊行物 尼崎の歴史や文化財に関する刊行物を頒布中です

### ◆頒布中の刊行物

| No. | 冊子名                           | 頒布価格    |
|-----|-------------------------------|---------|
| ①   | 尼崎城研究資料集成                     | 1,000円  |
| ②   | 開館記念展図録 尼崎藩主三代の軌跡             | 1,000円  |
| ③   | 第1回特別展図録 花開く江戸絵画-城下にぎわうころに-   | 500円    |
| ④   | 第2回特別展図録 初代尼崎市長櫻井忠剛と勝海舟・川村清雄  | 500円    |
| ⑤   | 尼崎の神社・寺院建築                    | 890円    |
| ⑥   | 尼崎市埋蔵文化財調査年報 平成25年度 <<最新刊>>   | 240円    |
| ⑦   | たどる調べる尼崎の歴史 上・下巻セット           | 4,500円  |
| ⑧   | 尼崎の歴史 ダイジェスト版                 | 100円    |
| ⑨   | 尼崎市史 史料編・別編                   | 3,500円他 |
| ⑩   | 尼崎市立歴史博物館紀要 地域史研究122号 <<最新刊>> | 850円    |

郵送希望の方や既刊分の照会は、①~④・⑦~⑩…史料担当(06-6482-5246)

⑤・⑥…文化財担当(06-6489-9801)にお問い合わせください。